

## JACET52 国際大会全体シンポジウム

### Session 2 「国内英語教育学会長によるこれからの英語教育のあり方 —Session 1 の提言を受けて」趣旨

提案者：卯城 祐司 （全国英語教育学会；筑波大学）  
竹内 理 （外国語教育メディア学会；関西大学）  
Kevin Cleary （全国語学教育学会；東京医科歯科大学）  
神保 尚武 （大学英語教育学会；早稲田大学）  
司会： 寺内 一 （大学英語教育学会；高千穂大学）

「英語」を取り巻く現実の変化に伴って、これまでの学問的な枠組みに捕らわれていたままでは、英語教育は世間の要求に応えることが難しくなっている。一方で、英語教育にはさまざまな切り口があるため、研究の深化とともに、いくつもの研究会や多くの学会が生まれてきている。しかし、いたずらな学問の細分化は教師や研究者の負担となって跳ね返ってきている事実がある。実際、いくつもの学会を掛け持ちする専門家は少なくないし、学会の全国大会や国際大会でも特定の領域にしか興味を持たない参加者も多い。会員数が 1,000 名を越える国内の英語教育学会が、それぞれ設立から 50 年以上経った今こそ、英語教育学会のあり方そのものについて、もう一度、現実を踏まえた上で、それぞれの設立理念に立ち返る必要があるのではないだろうか。

Session 1 での「国内関連学会代表者からの英語教育への提言」を受けて、本シンポジウムでは、学会のアルファベット順にケビン・クリアリー氏（全国語学教育学会（JALT）会長）、卯城祐司氏（全国英語教育学会（JASELE）会長）、竹内理氏（外国語教育メディア学会（LET）会長）にお越しいただき、主催者代表の神保尚武氏（大学英語教育学会（JACET）会長）とともに、「英語教育学」団体としての各学会の存在の意義の再確認を行うこととする。特に、今日的課題に対して、英語（言語）教育学者、教育者集団としての社会へのメッセージの出し方（入学試験のあり方と学会としてのスタンスを例として）について提案をしていただく。最後には、諸課題の解決に向かうための各学会の役割と学会連携のあるいは協働の可能性を探ることとし、社会貢献としての学会活動を最終提言する場としたい。

最後に、シンポジウムの進行であるが、まず、司会者による登壇者の紹介や趣旨説明（5 分）があり、次に、4 人の登壇者に提案（約 20 分ずつ）をいただき、その後、登壇者同士および会場との質疑応答（約 20 分）を行い、最後に、各登壇者からの連携の可能性への一言（合わせて 10 分）と司会者のまとめ（5 分）を予定している。

シンポジウム 2 (Biodata)

卯城 祐司 (全国英語教育学会 ; 筑波大学)

USHIRO Yuji is a professor of the University of Tsukuba. He is the President of the Japan Society of English Language Education (JASELE), the Japan Association of English Teaching in Elementary Schools (JES), and the Kantokoshinetsu Association of Teachers of English (KATE). B.A. (Hokkaido University of Education in Asahikawa), M.A. and Ph.D. (University of Tsukuba)

竹内 理 (外国語教育メディア学会 ; 関西大学)

Osamu Takeuchi, Ph.D., is Professor and Dean of the Faculty of Foreign Language Studies, Kansai University. His research interests include L2 learner strategies, motivation, and self-regulated learning. His work has appeared in such professional journals as Applied Linguistics, System, RELC Journal, CALICO Journal, and Innovation in Language Learning and Teaching.

Kevin Cleary (全国語学教育学会 ; 東京医科歯科大学)

Kevin Cleary is an Associate Professor in the International Exchange Center of Tokyo Medical and Dental University. He has written 14 textbooks in Japan, including *Adventures Abroad*, *Science in Focus*, and *Science for Everyone*, and has served as the President of the Japan Association for Language Teaching (JALT) since 2010.

神保 尚武 (大学英語教育学会 ; 早稲田大学)

Jimbo Hisatake is President of JACET. He is Professor of English, Waseda University. His major field is English teacher education and materials development. His recent publication is co-authored (2011) *Developing Professional Competencies of English Language Teachers – From Pre-service Training to Lifelong Learning*. Taishukan.

寺内 一 (大学英語教育学会 ; 高千穂大学)

Dr. Hajime Terauchi is Vice-President of JACET. He is Professor of English Language in the Faculty of Commerce and Vice-President of Takachiho University, Tokyo. He has BA in Civil Law (Keio University, Japan), MA and PhD in English Language Teaching (University of Warwick, UK). His major field is ESP (English for Specific Purposes).